

| | | | |
|--|---------------|--------------------|--|
| 科目区分 | 基礎分野 | 授業科目 | 哲学 |
| 講師名 | 藤本 良伺 | 実務経験の有無 | 無 |
| 単位数(時間) | 1単位(30時間) | 開講年次 | 1年次 後期 |
| 目的： 生命、死、人間など重要かつ難解な概念、そしてそれらが生み出す問題に対して、哲学的思考を適切に用いて粘り強く考える 目標： 1) 哲学的思考について教科書を通じて習得し、ものごとを論理的、批判的に考えることができる 2) 医療現場の様々な問題に哲学的思考を応用し、具体的に考えることができる | | | |
| 回 | 時間 | 講義内容 | |
| 1 | 2 | 導入 | 講義の概要を説明する |
| 2 | 2 | 教科書を用いて哲学的思考法を学ぶ | 有名な思考実験をいくつか例示し、難解な問題を考える際に思考実験を行うことの意義を説明した上で、各自で紹介された思考実験に取り組む |
| 3 | 2 | | 前回の続き |
| 4 | 2 | | 表面的には説得的に思われる様々な主張に潜む誤謬や不備を見抜くテクニックを実例を通して学ぶ |
| 5 | 2 | | 前回の続き |
| 6 | 2 | | 生産的な議論のために、有益な反論を形成する方法を具体例を用いて学ぶ |
| 7 | 2 | | 前回の続き |
| 8 | 2 | | これまでに学んだ哲学的思考法を使ってグループディスカッション(議題未定)を行う |
| 9 | 2 | 医療における諸問題を哲学的に考察する | 人工妊娠中絶の是非に関して、胎児は人格を持つかという論点を軸に考察する |
| 10 | 2 | | 我が国の移植医療の現状を説明し、問題点を指摘し考察する |
| 11 | 2 | | 生殖補助医療をめぐる諸問題を理解した上で、哲学的な考察を行う |
| 12 | 2 | | 終末期医療と安楽死に関する基礎知識を学び、望ましい死のあり方を考える |
| 13 | 2 | | クローン技術や再生医療が人間の未来をどのように変えるかを議論する |
| 14 | 2 | | 講義の総括 |
| 15 | 2 | 単位認定試験 | 筆記試験 |
| 講義方法 | 講義 | | |
| 評価方法 | 筆記試験 100% | | |
| テキスト | 岩波書店：功利主義とは何か | | |
| 備考 | | | |